

## 令和3年12月定例会市議会市政報告

令和3年第5回釧路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

釧路総合振興局管内の感染状況につきましては、9月は感染者数が108名となりましたものの、同月中旬頃から減り始め、10月は発表がなく、11月は30日時点で3名となっております。

こうした中、道内の感染状況をふまえ、9月30日をもって緊急事態宣言が解除されたことに伴い、市では庁内における対策本部会議を随時開催し、北海道の対策方針や感染状況を踏まえ、市有施設の利用制限の緩和などについて協議し、カラオケの利用や飲食について順次再開したところであります。

次に、新型コロナワクチン接種につきましては、11月30日時点で、1回目が134,687人、接種率89.1%、2回目が130,429人、接種率86.3%となっております。

12月及び1月の接種体制につきましては、主に2回目の未接種者及び今後満12歳になる方を対象とし、防災庁舎におきまして12月は毎週日曜日、1月は10日及び23日に特設会場を開設いたします。なお、11月30日の時点で、特設会場の予約につきましては満杯となっており、現在、予約できる日程を増やすなどの検討をしております。決定次第、改めて市民の皆様にお示しいたします。また、満12歳になる方につきましては、誕生日の前日から接種が可能となりますことから、対象となる方に順次予約のご案内をしております。

3回目接種につきましては、2回目の接種終了から原則8か月以上経過した18歳以上の方が対象となり、まずは医療従事者を対象に12月から接種を開始し、高齢者施設入所者については来年2月から、一般の高齢者については4月からの開始を予定しております。

報告の第2は「**北海道太平洋沿岸における赤潮被害への対応**」についてであります。

9月中旬以降、道東の太平洋沿岸を中心に確認されている赤潮により、ウニやサケが大量にへい死するなど、沿岸自治体の漁業者においては甚大な漁業被害が生じております。

北海道での大規模な赤潮の発生は過去に例がなく、今後の状況は未だ不透明ではありますが、ウニ漁業につきましては、今後数年間にわたり生産が不可能な状況が見込まれており、被害金額は、11月19日時点で全道約80億円、釧路総合振興局管内約39億円に及んでおります。

こうした中、市といたしましては、被害にあった自治体・漁業協同組合と連携し、10

月7日に北海道知事への緊急要請、10月12日及び11月11日には北海道とともに農林水産大臣へ緊急要請を行い、一刻も早い漁業生産と経営の回復に向けての支援を訴えてまいりました。

現在は、根室、釧路、十勝、日高の4管内でのモニタリング体制が構築されており、プランクトン濃度の監視が行われるとともに、水産試験研究機関において、発生原因の早期究明や適応策などの調査研究が進められております。

今後におきましては、国や北海道から示される支援策の内容を踏まえ、市としても、関係機関と連携を図りながら、持続可能な漁業の再建に向けた取組を検討してまいりたいと考えております。

報告の第3は、「旧日本銀行釧路支店利活用に係る提案募集の結果について」でございます。

旧日本銀行釧路支店の建物につきましては、平成27年の同支店の市内移転に伴い、外観の保存を目的として、釧路市が取得し、維持管理を行ってまいりました。

しかしながら、建築以来70年を経過し、最低限のメンテナンスだけでは外観の保存にもいづれ限界を迎えることが想定されることから、今後の取扱いの方向性を検討するため、建物の利活用に関する提案を、本年10月12日から11月9日まで、広く市内外から募集いたしました。

お寄せいただきましたご提案は、個人の方から22件、事業者の方から3件、合わせて25件に上り、カフェやオープンキャンパス、レンタルオフィスのほか、幣舞橋のたもとという立地を生かした夕日に特化した施設など、実に様々なご提案がありました。また、一部の事業者の方からは、事業の収益化についてのシミュレーションを含めたご提案をいただくことができました。

ご提案くださった皆様方に対しましては、改めましてお礼申し上げます。

この結果を受けまして、市といたしましては、建物の利活用の可能性が十分にあるものと判断し、外観の保存を前提とした民間事業者による利活用について、より具体的な提案を受けることといたしました。

来年度以降、「サウンディング調査」という民間事業者との意見交換によりさまざまなアイデアや意見等を把握する調査を実施し、提案の実現性を高め、最終的な利活用方策を決定してまいりたいと考えております。

報告の第4は、「釧路都心部まちづくりフォーラムの開催」についてであります。

本年12月16日(木)午後1時より、釧路市観光国際交流センターにおきまして、「釧路都心部まちづくりフォーラム」を開催いたします。

市では、鉄道高架を基本に、都心部を人と公共交通を中心とした賑わいの拠点として再

生し次世代に継承することを目指しており、本フォーラムは、そのあり方などについて、講師、パネリスト並びに市民の皆様と共に考えることを目的として開催いたします。

当日は、都市計画の分野において国内有数の専門家である、北海道大学の<sup>たかの しんえい</sup>高野 伸栄教授に基調講演を行っていただいた後、都心部の再生について市民代表によるパネルディスカッションを実施いたします。

また、フォーラムの様様をライブ配信し、より広く市民の皆様のご理解が深まるよう努めてまいります。

報告の第5は、「令和3年度緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練」についてであります。

緊急消防援助隊は、大規模災害等において各都道府県から駆けつける応援部隊です。

この緊急消防援助隊の技術向上及び連携活動能力向上を図るため、毎年、全国6ブロックにおいて合同訓練が行われています。

本年度の北海道東北ブロック合同訓練は、去る11月13日（土）、釧路市において開催され、千島海溝周辺を震源とする最大震度7の地震が発生、建物倒壊や火災、津波による浸水で市内に甚大な被害があるとの想定で行われました。

新型コロナウイルスの影響により規模は縮小されましたものの、道内の消防機関から32台123名の隊員が参加、図上訓練や津波複合災害対応訓練、また、後方支援活動訓練を実施するなど、当市の消防力強化と受援体制構築につながる大変有意義な訓練となりました。

報告の第6は、「工事発注状況」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約118億9千万円となっており、11月25日現在における発注済額は約117億8千万円であり、発注率は、99.1%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約103億9千万円、率ではおよそ88.2%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約90%、上水道事業で約99%、下水道事業で約98%、住宅建設事業は約99%の状況となっております。

以上で、市政報告を終わります。